

保育実践 2 研究室（榎本眞実先生）

▶榎本先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

○私は、東京都の公立幼稚園で 20 年程担任として子どもたちと過ごしてきました。その経験の中で立ち上がった「問い」、特に「遊び」に着目して取り組んでいます。たとえば、

- ・遊び場面における共通の目的の生成過程
- ・幼児の主体性を担保する「教育的瞬間」と援助の在り方
- ・遊び場面における教師の問いかけについて～遊びの楽しさと育ちの保障～

などです。「遊び」において育ちゆく子どもたちの力や、瞬時に判断して援助をする保育者の行為を理論として言葉に表したいと思っています。

○幼稚園や保育所の現場に赴き、先生方と一緒に学ぶ機会も大切にしています。そこで得た学びは、授業において学生たちとも共有しています。

▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

○「問い」をもって幼稚園や保育所にフィールドワークに行き研究をする学生がほとんどです。たとえば、「ままごと遊びにおける教師の援助」「子ども同士のいざこざ」「友達関係の構築過程」などです。仲間と何度も議論しながら、それぞれの研究を深めていきます。

▶もっと知りたい方へ

○著書

- ・「遊びが広がる保育内容のアイデア」共著 萌文書林 2020
- ・「演習 保育内容 人間関係」共著 建帛社 2019 他

○論説

- ・「教師等の専門性を高める研修と実践の往還」初等教育資料 9 月号 東洋館出版社 2022

○社会活動

- ・さいたま市私立幼稚園協会研究会
- ・北区立保育所 1 歳児研究会
- ・北区立保育所 公開保育
- ・東京都特別区公立幼稚園研究発表や園内研究

などの指導講師を継続して行っています。